

# 338年続く 伝統の祭り

9月14、15日に開催された登米秋まつり。  
1675年(延宝3年)から始められたと伝えられ、  
平成21年に「宮城県指定無形民俗文化財」に指定。  
14日宵祭りで奉納される「登米薪能」も宮城県指定  
無形民俗文化財に指定されており、歴史と格調高い  
登米秋まつりに大勢の人が訪れました。(21ページ)



風流大賞  
九日町

勸進帳  
九日町

風流大賞を受賞した九日町町内会の山車「弁慶飛六方」。大迫力の武蔵坊弁慶が大勢の皆さんの目を楽しませていました

## 石越

「ピヨピヨまつり」を開催



▲参加した子どもたちは夢中になって遊んでいました

## 楽しいコーナーいっぱい

石越ピヨピヨまつりと題した夏祭りが8月28日、石越子育て支援センターで開催されました。0歳から3歳までの乳幼児と保護者20組40人、子育てボランティアアサークル「まごまご」の皆さんが参加。アンパンマンの「サンサン体操」を元気よく踊ったり、輪投げをしたりして楽しく遊びました。水ヨーヨーやバルーンのコナーでは、気に入った風船を選ぶと、うれしそうに受け取っていました。  
「おいしいものコナー」には、ポップコーンやかき氷が並び、子どもたちは元気いっぱい遊んだ後、みんなでおいしそうに食べていました。

## 不思議な科学実験に夢中

元気っ子クラブで第4回講座

## 南方



▲講師の相澤正宏さん(大崎市)のお話子どもたちは興味津々

第4回南方元気っ子クラブが8月9日、西郷公民館で開催され、登録児童38人が参加しました。クラブは、南方地区3小学校の3年生から6年生までが対象。1年間の活動を通して自主性や協調性などを養うことを目的に、防災教室や登米村田製作所出前授業など普段できない体験を数多く計画しています。  
今回は「ドライアイスで魔法学校」と題し、科学実験教室を開催。ドライアイスでジュースやアイスを作ったり、ペトボトルロケットを発射したりと、次々に飛び出す不思議な科学の世界に、子どもたちは魅了されていました。

## 津山

児童クラブでクッキング

## 食育でケーキ作りに挑戦



▲ケーキ作りに挑戦する児童たち

津山児童クラブによる「クッキング」ケーキ作りに挑戦が8月23日、津山老人福祉センターで開催されました。  
この活動は、調理を経験する中で食に対する興味関心を育むことを目的に、毎年夏休みを利用して実施。当日は、児童22人が参加しました。  
クッキングでは、津山地区食生活改善推進員の皆さんの協力をいただきながら、シフォンケーキやプリン、シチュー作りに挑戦しました。児童たちは一緒に調理した皆さんと交流を図りながら、自分たちが作った料理で楽しい昼食の時間を過ごしていました。